



学校通信

# 我が輩はトラフズク

令和5年9月22日 No.6

弘前市立第三中学校(文責:教頭 須郷 祐一)

創造・感動・笑顔

「プロジェクトX:三中祭」

校長 小笠原 恭史

昔、NHKの「プロジェクトX」という番組がありました。新幹線や自動車、ダム建設や人命救助など、それぞれ難題に挑む無名の人々の姿を描いたドキュメンタリー番組でした。テーマ曲「地上の星」で歌手の中島みゆきさんは、“人はスターに憧れて上ばかりを見ているけれど、同じ地上にたくさんの輝く人たちがいることを忘れてはいないか”と問い掛けていました。

番組は高視聴率で、私も観ていました。すごいこと=有名とは限らず、知らないところでさりげなくも必死な生き様があって、そこには感動があると思いました。

番組には“感動を無理に作っているのではないか”というような意見も寄せられたと聞きました。そのような意見があると知って、逆に思ったことがありました。それは、誰をフューチャーしても番組は作れるということです。誰の人生にも感動はあるのだらうと思いました。

“自分の人生に感動なんか無い”と言う人の方が多いと思います。番組に登場した人たちの多くも、その渦中を感動しながら生きていたわけではなく、辛く悔しい日々であったと思います。ただ、その悔し涙が視聴者に感動として伝わっていたのです。

生まれながらの大金持ちが、努力もせず贅沢に暮らす様子はドキュメンタリーにはなってもドラマにはなりません。羨ましさはあったとしても感動はありません。私たちは番組に、難題に屈せず打開し続ける人々「地上の星」を観ていたのです。まるで大変さに憧れるかのようでした。

例えば中学校の頃の部活動で、先輩に憧れ早く3年生になりたいと頑張っていました。いざなってみると大変なことばかりでした。毎日の練習での責任感、試合に出る緊張感、負けて・叱られ、挑戦してくる後輩に負ける屈辱感に、“なんで自分の代だけ先輩なのにつらいのだらう”とっていました。～ずい分と時間がかかって気付いたことがあります。それは、いつの代も先輩(最上級生)は大変だということです。自分の代だけ大変なのではないのです。つまり、憧れた先輩たちは大変さに当たり前のように挑む人たちで、後輩の自分はその姿に憧れていたと気付きました。

それでも、大変なことや難題が押し寄せてくる毎日が嫌になったことがありました。大人になってからのことですが、全ての役割から外してもらったことがありました。すごく心は軽くなりましたが、すぐに心が空っぽになった気がしました。ある人に「小笠原の今を例えると、消防士が火事を消すことを辞めたようだ」と言われました。向き不向きもあると思いますが、自ら“消防士(のような役)”を担ったことを忘れていたのです。消防士にとって火事は当たり前です。例えば、野球のリリーフピッチャーがピンチにしか登板しないかのように。思い上がりを知りつつも、自らを消防士、リリーフピッチャーと思い込み、また動き出したことがありました。

番組は登場人物たちのインタビューで終わります。印象にあるのは「振り返ってみれば～」という言葉をつけて語る成就感や満足感でした。また、難題を越えたところにある喜びを励みとしていたことです。

三中祭に向かって、学級に、学年に、担当ごとに難題が押し寄せていることと思います。その一つ一つを乗り越えたところにある喜びを分かち合いながら進み、閉祭式～後片付けの頃に“振り返ってみればある成就感・満足感”を「終わる寂しさ」と共に味わってほしいと思っています。

「プロジェクトX:三中祭」が動き出しています。みんなが登場人物です。

三中学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども

## \* \* \* \* \* 10月の行事予定 \* \* \* \* \*

1	日		16	月	短縮①～⑥合唱タイム②15:40～16:00
2	月	平常①③三中祭振り返り②④⑥ 三中学校あいさつ運動	17	火	短縮①～⑤合唱タイム③14:45～15:05 職員会議15:25 部活動休止
3	火	平常①～③+清掃+帰りの会 給食なし 生徒退下12:05 第2回中教研1研修会	18	水	3学年朝会 短縮①～④ ⑤⑥生徒会役員選挙立会演説会・投票
4	水	短縮①～⑥ 3学年朝会 指導部会15:55	19	木	短縮①～⑥+合唱タイム④15:40～16:00 1学年朝会
5	木	平常①～⑤ 1学年朝会 学年部会15:25	20	金	短縮①～⑥+合唱タイム⑤15:40～16:00 2学年朝会
6	金	短縮①～⑥ 2学年朝会 第2回英語検定 生徒会委員会15:45	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	平常①②+短縮③～⑥+合唱タイム⑥15:50～16:10 03年実力テスト④ リーダー研修会
9	月	スポーツの日	24	火	平常①～⑤+合唱タイム⑦15:10～15:30 全校総会(新役員認証式・生徒会執行部委嘱状交付式) 生徒会委員会総会15:40
10	火	平常3時間+清掃・学活 生徒退下12:05 全校朝会 第2回中教研2研修会 給食なし	25	水	平常①～⑤教育委員学校訪問10:00～12:00 校内研修14:10～15:00 協議会15:10～16:00
11	水	平常①～⑤ スタディールーム 拡大主任会15:25 質問教室①	26	木	短縮①～⑥+合唱タイム⑧15:40～16:00
12	木	平常①～⑥ 質問教室②	27	金	短縮①～⑥+合唱タイム⑨15:40～16:00
13	金	10月テスト 合唱タイム⑩15:10～15:30	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	短縮①～④+平常⑤⑥ 3年進路説明会⑤⑥ +合唱タイム⑩15:50～16:10
			31	火	短縮①～⑥+合唱タイム⑪15:40～16:00 2学年朝会

## 吹奏楽部東北大会

8月27日に山形で行われた東北大会にて銅賞を受賞しました。

青森県大会で県代表として金賞を受賞してから東北大会までの約1ヶ月間、部員たちは、ロングトーンやチューニングなど、基礎をしっかり固めることを一番の課題として練習に取り組んできました。

26日に山形へ出発し、迎えた本番当日。三中は、演奏順がプログラム2番目ということもあり、早朝に起床し、眠気やだるさが残るなかで最後の練習をしてから会場へ向かいました。

本番の演奏は、早朝の疲れを感じさせない堂々としたもので、舞台裏で聴いていた私も感動しましたし、部員たちも様々な思いはあれど、「自分たちの力を出し切れた」と明るい表情でした。

出演後は、全国大会常連校の演奏を聴くことができ、自分たちの演奏にとって必要なものは何かを1人1人感じたのではないのでしょうか。

最後に、東北大会出場にあたり、応援してくださったみなさん、ありがとうございました。

(吹奏楽・中村)



○思いやりの心をもち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる

# 中体連秋季大会(新人戦)

## 野球

三中 8-0 附属  
(5回コールド)  
準決勝  
三中 4-1 尾上  
決勝  
三中 3-1 東中 (県大会出場)

## サッカー

予選リーグ  
三中・津軽 7-0 平賀西  
三中・津軽 1-9 五中  
予選リーグ敗退

## 男子バレー

予選リーグ  
三中 1-2 尾上  
三中 1-2 中郷  
予選リーグ敗退

## 女子バレー

予選リーグ  
三中 0-2 黒石中  
三中 0-2 相馬中  
予選リーグ敗退

## 男子ソフトテニス

団体予選リーグ 1位通過  
決勝トーナメント 第3位  
代表決定戦 三中 0-2 尾上  
古川・山崎組 (県大会出場)  
櫻庭・桑村組 (県大会出場)

## 女子ソフトテニス

団体予選リーグ 1位通過  
決勝トーナメント  
1回戦 三中 1-2 東中  
平塚・鎌田組 3位 (県大会出場)  
川越・鳴海組 5位 (県大会出場)

## 柔道

男子 50kg級  
小枝要太 第4位 (県大会出場)

# 野球 優勝 卓球女子団体 3位

## 女子卓球

団体予選リーグ 1位通過  
決勝トーナメント 3位 (県大会出場)  
個人  
高松 璃 2位 (県大会出場)  
竹内美城 5位 (県大会出場)

## 剣道

1年男子個人 瀬川斗翔 1位

## 男子バスケット

決勝トーナメント  
男子  
三中 47-43 四中  
三中 47-102 津軽  
シード決定戦  
三中 64-56 南

## 女子バスケット

予選リーグ  
三中 38-74 四中  
三中 108-7 附属  
決勝トーナメント  
三中 35-106 東  
三中 27-80 一中

## 相撲

個人戦  
2年生の部 佐藤楓汰 1位  
無差別級 佐藤楓汰 2位  
(県大会出場)

## 陸上競技

2年男子 110mH  
齋藤広弥 3位 (県大会出場)  
共通男子 3000m  
五十嵐一葉 4位  
2年女子 100mH  
吉田萌乃 7位  
共通男子 4x100mR 8位

# 卓球部 全国大会へ

8月22日~24日にかけて、全国中学校卓球大会が高知県立県民体育館で行われた。

22日は移動と公式練習が行われた。

選手達は弘前バスターミナルへ集合し、家族に見送られながら青森空港へ出発した。そして、青森空港で校長先生に見送られ、羽田空港へ向かった。羽田空港到着後、高知空港行きへの乗り換え時間は約20分。羽田空港のとてつもなく広いロビーを急いで移動し、無事高知県へ出発することができた。

高知県到着後、県民体育館へ移動し、公式練習が行われた。全国の中学生が集まる中、選手達は物怖じすることなく着々と調整を行った。

23日。女子団体予選リーグ第1ステージが行われた。第1試合は栃木県陽北中学校であった。全体的にレベルが高く、1、2セットは取れたものの、ゲームを奪えず、0-5で敗戦となった。第2試合は大阪府四天王寺中学校であった。チームのほとんどが有名企業のクラブチームに所属する選手を擁する、優勝候補との対戦だった。結果は0-5で敗戦したが、選手達は最後まで諦めず、必死に食らいついた。何より優勝候補と試合ができたことは選手達にとって、とても大きな経験になったはずである。(四天王寺中学校は今大会で準優勝となった。)

24日は高知市の商店街や観光名所の「ひろめ市場」を観光した。お土産や食事を楽しみ、選手達はリラックスして過ごすことができた。

午後は飛行機での移動だったが、悪天候により1時間以上の遅れがでた。予定時刻が次々と変動する中でも、選手達は集合時間をしっかりと守り、空港での待機時間を過ごした。

そして、無事に弘前に到着した。青森県を飛び出し、東北、全国まで登り続けた三中卓球部の中体連が幕を閉じた。

(卓球部・角田)



# 思い出づくり

突然ですが、いい思い出はどんなときにできるのでしょうか。

ちょっとだけ、これまでの自分の過去を思い出してみてください、いい思い出の共通点を探ってみてください。

一生懸命頑張った勉強やテスト前の学習、一生懸命取り組んだ部活動、一生懸命になったスポーツフェスティバル...

いい思い出として頭に浮かぶのは、「一生懸命のとき」だと思います。これから迎える、三中祭や合唱コンクールなどの学校行事も、その取り組み方によって、いい思い出になります。

一生懸命のときは、ひとつの目標に向かっていきます。一生懸命になると、自然と高い集中力が発揮され、ベストを尽くせる状態になります。そうすれば「絶対成功させる!」という熱い思いが強くなり、自然と力が入ります。

一生懸命になればなるほど、期待と不安入り交じり、喜怒哀楽やたくさんの感情が詰まってくることも多くなります。思わぬトラブルが発生して泣きたくなることもあります。そんな時も諦めずになんとか乗り越えましょう。そうして乗り越えたことは記憶も美化されるので、結果としていい思い出となるのです。

いい思い出を作りたいと思うのなら、一生懸命になってください。何事も一生懸命になることが大切です。時々、一生懸命を馬鹿にする人がいますが、その人はとてもうらやましいのです。一生懸命はカッコいいことです。

一生懸命になっているときは目の前のことでいっぱいかもしれませんが、不安やストレスに負けずに、ぜひ乗り越えてください。辛くて苦しい時間ですが、それも価値があることです。一生懸命になれば、ベストの結果が返ってきますし、後悔も減ります。

面白いことに、一生懸命になっているときは、一生懸命になっているとは思いません。感じません。後になって「そういえばあのときは一生懸命だった」と思うのが特徴です。

乗り越えた先には、素晴らしい景色が広がっています。一生懸命になったことは、成功であれ失敗であれ、印象深く残ります。後から振り返ったとき「有意義な時間だった。いい思い出ができた」と思えるのです。

私自身は残念ながら、これまでの人生にあまりいい思い出がありません。何事にも一生懸命になれなかったのです。

ですから、皆さんにはいろいろなことに一生懸命になって、いい思い出をたくさん作ってほしいと思います。まずは来週に迫った三中祭、その準備です。

(すごう)

## 三中祭 9月28日(木)、29日(金)で開催!!

1年で最も大きな行事の一つに挙げられる三中祭が、9月28日(木)、29日(金)の二日間で開催されます。

今年度からは、コロナ禍での制限がなくなり、自由に見学することができます。

近隣の方には、28日(木)の夕方にグラウンドでのフォークダンスや花火などで、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。